

長浜北高等学校

同窓会報 第1号

令和2年8月1日

【発行】 滋賀県長浜市平方町 270 滋賀県立長浜北高等学校 同窓会事務局 【印刷所】 有限会社下村印刷所



同窓会から母校にエールを送りましょう

同窓会会長 國友 隆房



長浜北高校同窓会会員の皆様方には、コロナ禍の中、まだまだ平穏とは言えない毎日をお過ごしのことと推察いたします。日頃は同窓会の運営に對しまして、格別のご理解、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年2月、長浜高校同窓会(旧桐朋会)と長浜北高校同窓会(旧桐映会)が統合し、新しく長浜北高校同窓会が発足してから、はや一年半が経過しました。その間、新校長浜北高校の卒業生も2回を数え、本年3月にも新たに300名を超える新会員を加えることができました。

また、その100年の歴史と3万人の同窓の中から、昨春秋、大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授の坂口志文先生(昭和44年3月卒業)が文化勲章を受章されました。このことは、同窓会として、誠に大きな喜びであるとともに会員全ての誇りであり、心よりお祝いを申し上げます。坂口先生だけでなく、同窓の中には、世界中の各方面で活躍されている方々が数多くおられます。これからの私たちの母校が、地域の高等教育機関として素晴らしい人材を、地域に、日本に、そして世界に送り出していただけることを願い、応援していきたいと思っています。

同窓会の運営につきましては、本年度予算で旧両校の同窓会会計残余金を本会計に繰り入れたいただき、当面の同窓会事業について支障なく遂行できる見通しとなり、両校の同窓会の皆様には感謝申し上げます。その予算の中より、校舎2号館の2階にある同窓会記念館に旧両校の記念品賞状、カップ、校旗、校歌額等)を陳列したりする、館内の環境整備費用も計上させていただきました。機会がありましたら、母校お訪ねの際にだければ幸いです。

今年は、教育現場が大変な状況にあります。新型コロナウイルスのため、長期にわたる臨時休校からの手探りで再開。授業だけでなく、インターハイや高校野球の全国大会等が中止となり、文化的活動も大きな制約を受けています。今年入学した生徒たち、進路選考を控えた生徒たち、全ての生徒たちが例年の学校行事もできず、指導される先生方も含めてどれ程の不安と焦りであるのか心が痛みます。今は、一日も早い終息を祈るばかりですが、母校の校訓である「自強不息」(じきょうふし)の精神で乗り越えるために、先輩として、生徒たちと先生方に力いっぱいエールを送りたいと思います。

最後になりましたが、先日(の)常任幹事会(書面)において、次期同窓会会長に旧長浜高校同窓会会長で現在筆頭副会長をいただいている月瀬毅氏が指名されました。今度の総会で決定される予定ですが、これまで以上に協力、ご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。長浜北高校同窓会の皆様のご健康とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

事務局からのお願い

今回、記念すべき第1号の同窓会報を、会員の皆様にお届けすることになりました。今回は旧北高の卒業生で、昨年文化勲章を受章され、何度もノーベル賞候補になっておられる坂口志文先生からのメッセージを掲載しております。坂口先生の熱き思いを胸に、母校北高がさらに発展するようにご協力のほど宜しくお願いします。

名簿等の販売について

【旧長浜北高校】 「創立100周年記念誌」 ￥5,000
「同窓会名簿」(平成27年度版) ￥5,500
【旧長浜高校】 「同窓会名簿」(平成29年度版) ￥4,700
いずれも、まだ在庫がありますので、ご希望者に販売します。

【販売数】 いずれも、おひとり様1冊とさせていただきます。
【申込方法】 電話、FAXでお願いします。
電話番号 0749-62-0238 FAX 0749-65-1341

※新規に同窓会名簿の発行予定はありません。

運営協力金について

運営協力金にご協力いただける方は以下の振込先にお振り込みください。

ゆうちょ銀行
口座記号番号 00960-5-22377
振込先名 長浜北高同窓会

※運営協力金は、同窓会報の発行や同窓会の運営資金として活用させていただいております。

「新型コロナウイルスの影響」

校長 杉澤 和雄



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育活動に対し、温かいご理解・ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月中国武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大は止まるところを知らず、東アジアはもとより世界各地で猛威を振るい、3月にはWHOが世界的大流行を表明する事態となりました。日本でも、3月の学校臨時休業、4月には全国を対象とした緊急事態宣言が出され、さらにその後の解除延長と、日常生活が著しく制約されることとなりました。今なお感染症の完全な終息の見通しは立たず、教育活動はもとより経済活動にも甚大な影響を及ぼし、会員の皆様におかれましては、不安と困難を抱えておられることと思います。

本校におきましては、学年末の締めくくりと新学期のスタートとなる大切な時期が相次いで臨時休業となり、生徒も教職員も大いに戸惑うこととなりました。何とか無事に実施できた入学式では、第5期生となる新入生280名が真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちの初々しい姿を見せてくれました。ただ、新入生も保護者も教職員も来賓も皆がマスク姿という、例年とは異なっており、緊張感の漂う式となりました。午後の新任式・始業式は「三密」を避けるため、放送で行いました。改めて、当たり前と思っていた日常生活や健康、そして命の大切さを訴えるとともに、時間を大切にすること、周囲への感謝の気持ちをもちつことなどを呼びかけました。

6月からは学校も再開となりましたが、まだまだ先行きの見えない中、生徒の学力保障はもちろんのこと、大学進学や就職などの進路保障、あるいは心身の体調維持管理など、生徒が抱える様々な不安にどうしたら応えていけるのか、どうしたら前向きに進んでいけるのか、日々試行錯誤しているところです。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止と休業期間延長対応の観点から、さまざまな学校行事も中止や見直しを余儀なくされました。体育祭・文化祭の中止、1年生自分さがし体験事業の中止、2年生グアム修学旅行の延期と行先変更、定期考査の延期および夏季休業期間の短縮、さらには春季高体連・高文連の中止など、生徒にとっては授業以外の楽しみにしている行事、心身の成長に大切な行事が、すべて実施できない事態となりました。学校としては、少しでも代替の行事ができないものか、検討を重ねているところです。

一日でも早い新型コロナウイルスの感染終息が待たれるところですが、会員の皆様におかれましては、何より健康にご留意いただきますとともに、今後とも引き続き本校教育の推進にご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和元年度同窓会入会式

新入会員(男子164名 女子145名)
計309名 歓迎！

☆ 代表幹事 吉田 向日葵 福島 千尋

令和2年2月28日(金)、本校体育館において、令和元年度同窓会入会式が行われました。309名の卒業生が新たに同窓会に入会し、國友同窓会会長の入会の歓迎のお言葉、同窓会幹事の委嘱に続き、代表幹事が同窓会より記念品をいただき、そのお礼の言葉を述べ、また、入会の挨拶を行いました。



新会長に 月瀬 毅氏を指名

常任幹事会(書面議決)におきまして、同窓会新会長に筆頭副会長の月瀬 毅氏(旧長浜高校第6回卒業生)が指名されました。同窓会総会において、正式に選出される予定です。

旧長浜北高校から通算すると7年間、会長として同窓会のためにご尽力いただいた國友隆房氏は勇退されます。今後は、顧問としてより広い視野からのご助言をお願いいたします。長い間、誠にありがとうございました。

事務局

令和元年度 事業報告・会計報告

(1) 令和元年度 事業報告

令和元年

6月11日(火) 常任幹事会
8月 1日(木) 同窓会報統合記念号発行
8月25日(日) 第1回同窓会総会
11月21日(火) 正副会長会議

令和2年

2月28日(金) 第2回同窓会入会式(309名)

(2) 令和元年度 会計報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	¥4,083,901	¥4,083,901	
入会金	¥1,545,000	¥1,545,000	卒業生309人×5,000円
雑収入	¥0	¥35,486	利子 26円 記念誌売上げ2冊・送料 10,360円 名簿売上げ 5冊 25,100円
運営協力金	¥0	¥13,714	7名
収入合計	¥5,628,901	¥5,678,101①	

支出の部	予 算	決 算	備 考
会議費	¥100,000	¥3,628	常任幹事会、総会等お茶代
事業費	¥2,700,000	¥2,177,506	通信費 8,266円 会報印刷 178,092円 会報送料 1,936,054円 振込手数料 1,744円 坂口先生文化勲章祝電 9,350円 名簿メンテナンス契約料 44,000円
卒業記念品	¥340,240	¥339,900	卒業生309人×1,100円
予備費	¥2,488,661	¥0	
支出合計	¥5,628,901	¥2,521,034②	

差引残高 ①-② ¥3,157,067

(3) 令和2年度 事業計画(案)

令和2年

書面にて議決 常任幹事会
8月 1日(土) 同窓会報第1号発行
8月23日(日) 第2回同窓会総会

令和3年

2月26日(金) 第3回同窓会入会式

寄稿

長浜北高時代のこと

大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授
大阪大学名誉教授、京都大学名誉教授

坂口 志文



長浜北高等学校の統合と再出発に際し、旧長浜北高の同窓生の一人として、前途を祝しさらなる発展を期待いたします。

私は、昭和44年（1969年）の卒業で、母は長浜女学校時代に、父は旧長浜北高時代に教鞭を取っていましたので、長

浜北高とは縁浅からぬものがあります。私が在校生の頃は世界的に学園紛争が盛んで、卒業時には入学試験が中止になった大学もありました。私自身は医者になろうとして大学は医学部に進んだのですが、臨床医にはならず、医学研究に入り込んで、気がつけば高校卒業以来50年が経つとしています。

私が長年研究してきましたのは免疫学です。現在新型コロナウイルス感染症が全世界で猖獗を極め、ウイルスに対する免疫力をいかに高めるか、に強い関心が集まっていますが、私の専門は、逆に、免疫応答をいかに抑えるかという研究です。免疫学は、19世紀末に北里柴三郎がジフテリア毒素、破傷風毒素に対する高血清療法を開発して以来、いかに私達の身体を病原微生物から守るか、感染症を治療・予防できるか、を目標にして発展してきました。様々なワクチンが開発され、その結果、天然痘などほぼ撲滅できた感染症もありますし、現在も新型コロナウイルスワクチンの開発に大きな社会的関心が寄せられています。一方、免疫反応を抑えることも必要です。例えば関節リウマチ、1型糖尿病のような自己免疫病と呼ばれる疾患があり、人口の少なくとも5%が罹患しています。花粉症、アレルギー性鼻炎など環境物質に対する過剰な免疫反応としてのアレルギーは今や国民病の一つです。私達が発見し研究してきましたのは、そのような異常、過剰な免疫反応を抑制するリンパ球で、制御性T細胞と呼ばれます。

制御性T細胞は、誰でも血液中のリンパ球の約10%を占めていて、その数が減ったり抑制機能がうまく働かないと免疫反応が亢進し自己免疫病やアレルギーが発症します。このような免疫疾患は、制御性T細胞をうまく補ったり、増やしてやりますと治療でき、現在世界的に制御性T細胞を増やす薬の開発が進んでいます。一方、制御性T細胞は癌組織では癌免疫を抑えることが知られていて、癌組織で制御性T細胞を除けば、癌に対する免疫反応を惹起、強化できます。そのような新しい癌免疫療法の研究も進んでいます。また、臓器移植に伴う拒絶反応を制御性T細胞を増やすことで治療、予防する試みも進んでいます。私達の研究室も、制御性T細胞を増やしたり、減らしたりすることで免疫反応を調節し、より治療効果の高い免疫病治療法、癌免疫療法の開発を目指しています。新型コロナウイルス感染症でも、ウイルスに対する過剰な免疫反応が肺炎を増悪させることがあり、免疫反応の制御の難しさが指摘されています。制御性T細胞の研究から何か新しい治療のヒントが出て来るかもしれません。

高校卒業後50年、高校時代の同級生が仕事から引退し悠々自適の生活を送っているのをみますと、そろそろ私自身も研究人生の締め括りを考えねばと思う反面、人生100年時代になんなんとするならば、ゆくりながらも自分なりに納得できるところまで研究を続けてみようかと考えます。高校時代の古文の授業で習った本居宣長の「ついで山がみ」に、「才のともしきや、学ぶことの晩きや、暇のなきやによりて、思ひくづをれて止むることなかれ。とてもかくても、つとめだにすれば出来るものと心得べし」とあります。研究者の心得だと思えます。

東に伊吹山、西に琵琶湖、という風光明媚な土地での高校時代を懐かしく思い出します。新長浜北高で学ぶ若い皆さんが、郷土で、世界で大活躍されるよう祈ります。

主な受賞歴

2015年 ガードナー国際賞
2017年 グラフォード賞

栄典

2017年 文化功労者
2019年 文化勲章

※坂口先生は、今年、ロベルト・コッホ賞（ドイツ）を受賞されることになりました。
心よりお祝い申し上げます。

母校の先生方の人事異動（敬称略）

ご			転		出	
職	名	氏	名	教	科	異 動 先
教	頭	中 澤	成 行	英	語	能登川高校校長
教	諭	中 川	裕 彦	国	語	長浜北星高校
教	諭	寺 村	は る な	地 歴	公 民	彦根翔西館高校
教	諭	山 村	洋 大	理	科	日野高校
教	諭	石 井	千 恵 子	英	語	退職
教	諭	鎌 谷	美 樹 子	英	語	彦根東高校
臨 時 講 師	伊 吹	嵐 太 郎	保 健 体 育	愛知高校（臨時講師）		
臨 時 講 師	西 沢	愛	英	語	京都府立山城高校（臨時講師）	
臨 時 職 員	西 村	愛 友 子				

ご転出の諸先生方には、在職期間の長短にかかわらず、本校発展のためにご尽力をいただきましたことを、卒業生一同感謝申し上げます。

ご 転 入					前 任 校
職 名	氏 名	教 科			
教 諭	山 本 か お る	英 語			米原高校
教 諭	平 川 信 人	国 語			守山北高校
教 諭	田 中 栄 樹	地 歴 公 民			高島高校
教 諭	浦 川 真 緒	英 語			新規採用

これからの本校発展にご尽力をお願いします。

現 在 の 母 校

主な進路実績（進学は合格延べ数）

年 度 (生徒数)	四年制大学		短期大学		看護医療 専門学校	就職
	国公立	私 立	国公立	私 立		
H20(195)	31	320	1	20	27	1
H21(196)	32	309	0	19	27	2
H22(236)	26	444	1	22	17	4
H23(197)	38	370	1	22	28	2
H24(236)	38	520	1	15	24	2
H25(195)	37	331	1	12	25	1
H26(199)	19	399	0	17	26	4
H27(197)	21	394	0	10	35	3
H28(158)	16	318	3	10	11	0
H29(157)	16	201	0	17	30	2
H30(314)	20	388	2	23	58	7
R1 (309)	12	398	1	24	43	2

令和元年度卒業生の主な合格大学

◎国公立大学

滋賀大学 香川大学 滋賀県立大学

◎私立大学

関西大学 近畿大学 同志社大学 立命館大学 龍谷大学 京都産業大学
京都橘大学 京都女子大学 佛教大学 金沢工業大学 福井工業大学
東海大学 岐阜聖徳学園大学 中京大学 名城大学 聖泉大学
長浜バイオ大学

平成31年度・令和元年度

学校生活
1年生

校外学習 平成31年4月26日(金)

1年生は、毎年4月後半に、米原市のグリーンパーク山東において、校外学習を行っています。

この学習は、飯ごう炊さんなどの共同作業を通しての仲間づくりを目的に実施しています。この日、朝は曇り空で少し雨が降り、屋内テニスコートに集合しました。実施は困難かと思われましたが、午後には晴れ間も広がり、暑すぎず寒すぎない快適な一日となりました。

飯ごう炊さんでは、ブロックを積んでカマドを作り、火を熾しました。薪の火が安定するまでは多少の辛抱が必要ですが、どの班も上手く火が熾せました。予め班で話し合っ、材料や鉄板以外の調理器具などは各班で持ち寄り、料理をつくりました。かまどの鉄板料理と言えば、焼肉を思い浮かべますが、生徒の作った料理には、焼肉、焼きそば以外に、カレーライス、じゃがバター、オムライス、手ごねハンバーグ、チーズダッカルビ、デザートではチーズフォンデュ&チョコフォンデュ、パンケーキ、お茶漬け(!?)などがあり、本当に生徒のアイデアは発想豊かで多彩なことに驚かされました。この校外学習をきっかけにして、いっそうクラス内や学年内での仲間意識が広がりました。



湖北ワンダーウォーク 令和元年10月17日(休)

湖北ワンダーウォークは地域の施設や史跡をめぐり、歴史・文化・産業について学ぶこと、また豊かな自然に親しみながら長距離を踏破し、体力や精神力の向上を図ることを目的とするものです。

今回は、新江州株式会社、高橋金属株式会社、ヤンマー株式会社での工場の見学・講話と長浜文化芸術会館での長浜曳山祭の講演を聞き、ヤンマーミュージアムを見学して学校に戻ってくるという内容でした。途中バスも利用しながら約5キロメートルにわたる行程を散策しました。

ヤンマーミュージアムはリニューアルされ、いろいろなアトラクションを楽しみながら、ヤンマーの歴史について見識を深めることができました。



卒業証書授与式

令和2年3月1日(日)に本校の第2回卒業証書授与式が挙行されました。ご来賓の方々、保護者、教員の見守るなか、卒業生の代表者が、3年間の思い出とこれからの抱負を答辞の中で述べてくれました。この日、309名の生徒が母校を巣立っていきました。

第2期生は、第1期生が作ってくれた新校の土台をさらに発展させてくれた生徒です。今後の活躍を期待しています。



学校生活
2年生

校外学習 平成31年4月25日(休)

2年生は、毎年4月後半に校外学習を(大学見学)を実施します。

この学習は、2年生の進路学習の一環として実施しています。昨年は、生徒の興味や希望コース別に京都市内の大学・短期大学等を見学しました。

午前中は大学等の施設の見学や大学等での勉強や生活についての話を聞きました。午後は京都市内の班別研修を行いました。班ごとに計画したコースにしたがい、歴史的建造物や場所を訪ね、有意義な時間を過ごしました。



修学旅行～グアム～ 令和元年12月4日(休)～7日(土)

前年同様、今回も3泊4日でグアム島への修学旅行です。早朝、学校から2団に分かれて関西国際空港に向かいました。後団が予定よりも2時間以上遅れて、グアム・レオパレスリゾートホテルに到着しましたが、何より参加者全員が無事到着しホッと致しました。夕食のバイキング会場へは、美しい南国の異国の雰囲気たっぷりの庭を通って行きました。

2日目には、朝からアルパニービーチクラブで快晴の下、真っ青なとても広い遠浅のビーチでマリンスポーツをしたり、ビーチにある乗り物やボールで遊びました。少し沖に行きシュノーケリングで南の海の魚を見ることもできました。ランチもビーチのテントでとり、好きなだけ食べることができました。

3日目は、グアム・サザン高校との交流会で始まりました。オープニングセレモニーで本校の紹介ビデオと校歌を全員で熱唱し、よさこいを披露しました。サザン高校の方からも日本の曲に合わせた舞踊を披露していただき、その後、日本文化紹介交流とスポーツ交流に分かれて取り組みました。午後からは、タモン地区での班別研修で、ショッピングや観光を楽しみました。

最終日、ゆっくりとホテルで滞在し、再び前後団に分かれてホテルを出発し、マイクロネシアモールで昼食をとり、その後空港から帰路につきました。

今回の修学旅行では気温30度のグアムから雨降りの長浜に帰ってきました。夜遅い時間でとても寒い中の豊公園駐車場に、保護者のみなさんからの温かいお迎えは、とても有り難いものでした。



令和2年度 同窓会総会のご案内

今年度の同窓会総会を下記の要領で実施いたします。同窓生のみならず、ご参加をお待ちしております。参加いただける方は、準備の都合上、8月19日(月)までに同窓会事務局までご連絡ください。

日時 令和2年8月23日(日) 午後2時～
場所 滋賀県立長浜北高等学校

総会后、同窓会記念館をご案内いたします。